

あかね園を支える 保護者の活動



保護者会より【2月 定例会／研修会】

2月の定例会は30名の出席があり、園からは12月の利用者歯科検診の結果についてや「成人を祝う会」、新しい「あかねホーム幕張第二」で6名が新生活を始めた様子や、利用者の作業の現状や防災面についてお話がありました。

研修では「就労後の定着について」をテーマに、支援センターの中先生から「就職先の紹介と継続して長く働くためには何が大切か？」等のお話があり、今後の研修において取り上げたい話題もいくつか挙がりました。

また、保護者会ではバザー会計から法人に5百万円の寄付が承認されました。（担当：南部）

就労者親の会より【第4回定例会】

1月27日（金）、第4回の定例会と新年会が58名が出席して開催されました。会員の皆さんが談笑しながらお食事されている姿は、嬉しい限りです。今回はこの時間に「30周年あかね園の歩み」のフィルムを見て、感動しながらのディナータイムでした。

18時に議事に入り、総会に向けて役員選出、予算、計画等の件を討議しました。19時から支援センターの中先生より、近況や就労状況等について報告の後、心配事や今思っていることを皆さんと話し合いました。柴田常務は「子どもをお殿様、お姫様扱いをしないで自分のことは自分でやるように」と話され、松尾施設長は「親としての感覚が大事。そのことが問題の早期発見につながる」と話されました。

親の会の定例会は、センターからの提案や情報を皆さんと共有することが大切と考えております。皆さんのご参加をお待ちしております。（担当：佐藤淑）

友の会より【研修会報告】

2月11日（土）あかね園と茜浜ホールを会場に友の会の研修会を開催しました。今回は、母親だけでなく「家族の方々にも、もっとあかね園のことを知ってもらいたい」という園の強い思いから実現したものです。高齢化が日常の中で頻繁に語られる今、家族としてもあかね園の取り組みを、あかね園を、自身の目で見て感じる事ができたこの会は、それぞれの立場で考える貴重な機会になったと思います。正に“百聞は一見に如かず”、予想を大幅に超える参加者で会場はいっぱいでした。アンケートでは、このような機会にはまた参加したい、是非続けてほしいとの声が多数寄せられました。貴重な休日の一日、皆様のご協力に感謝いたします。なお、話し合いの様子は5月発行のみどりの風でお知らせする予定です。（担当：中内）

<参加者>

保護者会父17名、母22名、兄弟姉妹5名
就労者親の会父6名、母33名、兄弟姉妹8名
その他1名 計92名



【茜浜ホールでの様子、普段お話を聞けないお父様方からも声を】

あかね園・保護者活動代表委員会

30周年準備委員会は、1年半準備をし無事に式典を終えることができました。30年が過ぎ社会や福祉の制度、そして親の状況も変わる中、今後の親の活動のあり方についての話があり、各会の役員が集まるこの会で検討していくことで一致、「代表委員会」として再スタートしました。大きく変わるのではなく、それぞれの状況に合わせ、楽しく、参加できる場になればと思います。（担当：柴田）

	「友の会」30周年記念コンサート バレエとクラシックの奏で
	2017年6月16日（金）
	18:30開演 18:00開場
	於 船橋市民文化ホール
	全席自由席 2,000円
	お問合せ あひるの会「友の会」 047-452-2715

あかねの集い

第164号

平成29年 3月30日

発行者

社会福祉法人あひるの会 あかね園

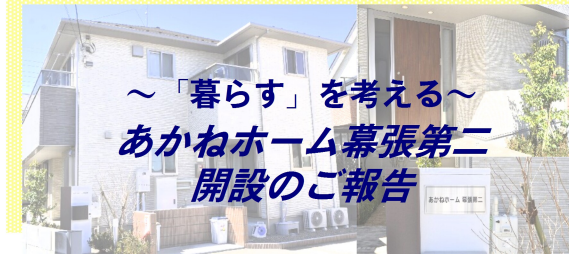
〒275-0024

千葉県習志野市茜浜3-4-5

TEL 047-452-2715

http://www.akaneen.com/

～「暮らす」を考える～ あかねホーム幕張第二 開設のご報告



あかね園のグループホームは、それぞれの目標やニーズに応じて、サテライト型を含めた6か所のホームがステップアップを図っていくことを目標とし、展開しております。今回は年明けから大きな動きがありましたので皆様方にお伝えします。

まずは「あかねホーム実習」です。開所から3年半が経過したところですが、安全面や消防設備の関係から、今年1月末にて閉所しました。そして、2月1日より、新たに「あかねホーム幕張第二」（既存の幕張ホームから車で約5分、幕張駅まで徒歩約10分の距離です）が開所しました。

「閉所」と「開所」という2つの動きの中で、単に入居者が「スライド」するというだけではなく、全ホームの入居者の様子や個々の目標の進捗状況を勘案し、今後の適性やステップアップに向けた異動について検討し、計画しました。そして、全入居者の皆様方について、ご本人、保護者の承諾を受け、全ホームから総勢12名という前代未聞の大引越しを敢行することとなりました。約10日間のスケジュールの中、保護者や多くの職員の手助けを受けながら、大引越しとあかねホーム新体制づくりは計画通り進めることが出来ました。



あかねホーム幕張第二の開所初日。入居者の方々は、期待と不安を胸に新ホームへと向かいました。そして、玄関を開けた瞬間、歓喜の聲が上がりました。何もかもが新しい設備や備品、そして、自分の居室・・・

松尾施設長も交え、全員でルール・マナーを中心としたオリエンテーションを行ない、士気を高め、新たな生活がスタートしました。開所から2か月、環境や対人の変化にも徐々に慣れ、他ホームで暮らしながら長きに渡ってあかね園で働き続けてきた6名は、これまで通り、自分で出来ることは自分で行ないながら、仲間と協力して共同生活を送る「生活感」も漂い始めました。



幕張第二ホームのコンセプトは、目的や状況に応じ次のステップを目指した訓練型と、【初日のオリエンテーション】年齢を重ねてきた方々にも対応する「複合型」です。ホームと働く場（就労継続支援B型）と家庭の3者が常に密の連携体制を取っていることも他のホームとは違う特徴です。これからも、あかねホームとしての各ホームのコンセプトを増やし、地域生活を広げ、豊かな暮らしに繋がる支援の場になれば、と思っています。（担当：渡辺）



【徐々に生活感が】

【自分のことは自分で】

企業との繋がりを

受注作業としての企業

あかね園では「利用者の持てる力を育て（訓練）、地域の中で長く安心して働き、暮らすための支援」を実現すべく、様々な訓練や体験の場を用意しています。

園内作業では、仕事に向かう姿勢や作業スキルの獲得等、働く上で必要とされる力を身につけることを目的としていますが、設立当初から実践的な訓練（作業）を提供すべく、地域の企業に営業をかけ、一社一社受注企業が広がってきました。現在は21社の企業から依頼をいただき、工場の作業は100%企業からの受注で構成されています。季節毎に様々な作業種が工場を彩っていますが、納期や精度は企業から求められた水準をクリアしなければならないので、繁忙期には利用者も残業体制を組むことがしばしばです。

園内作業

現在の工場は、大きく分けるとリサイクル作業と内職作業に分類できます。

○**リサイクル作業**：たばこメーカーの景品分別（販売促進物）、ガス給湯機の解体

○**内職作業**：食品パッケージのシール貼り、お菓子の箱折り、製袋、防災用備蓄品セット、段ボール箱の糊付、弁当箱の紙皿セット 等

○**その他**：年賀やエステ用品のシール貼り 等

外作業班

上記の他に、企業の中で仕事をする施設外就労班があります。職員が利用者を引率し、企業内で社員と同じ作業をします。

○**イケア班**：Tokyo-Bay店内にて、家具の組み立て・廃棄・リペア作業 等

○**テンボス班**：幕張店内にて、調理器具の洗浄作業 等

○**市川環境班**：習志野リサイクルセンター内にて、容器包装リサイクル作業

○**東京アート班**：関東工場内にて、製袋・資源ゴミ回収作業

○**緑地管理作業班**：契約箇所の草刈 ※事業連合班

○**住商班**：ケーブルテレビの電源コードの清掃・結束 ※H28年度末～、事業連合班

○**エフピコダックス班**：館内清掃 ※H28年度末～（担当：石坂、吉原）

あかね園の“最大の強み”は「企業とのつながり」です。30年前の設立時の思いも「働く」ことを中心に、企業とのつながりを強く意識したことは、このあかね園本体施設が福祉サービスとしては珍しい企業群（習志野市茜浜第三企業）の中に位置していることからわかります。

現在、あかね園において日常的に関わりのある企業は約330社にものぼります。（就職先290社＋受注企業21社＋実習先企業25社）利用者や職員は日中、常に企業との接点がある中で企業から求められること（姿勢）や、仕事の責任感等を感じながら、「働く」ことと向き合っています。あかね園は「企業からの風通しの良さ」を実現することにより、利用者や卒園生は「社会で通用する人材」へと成長していくのです。（施設長：松尾）



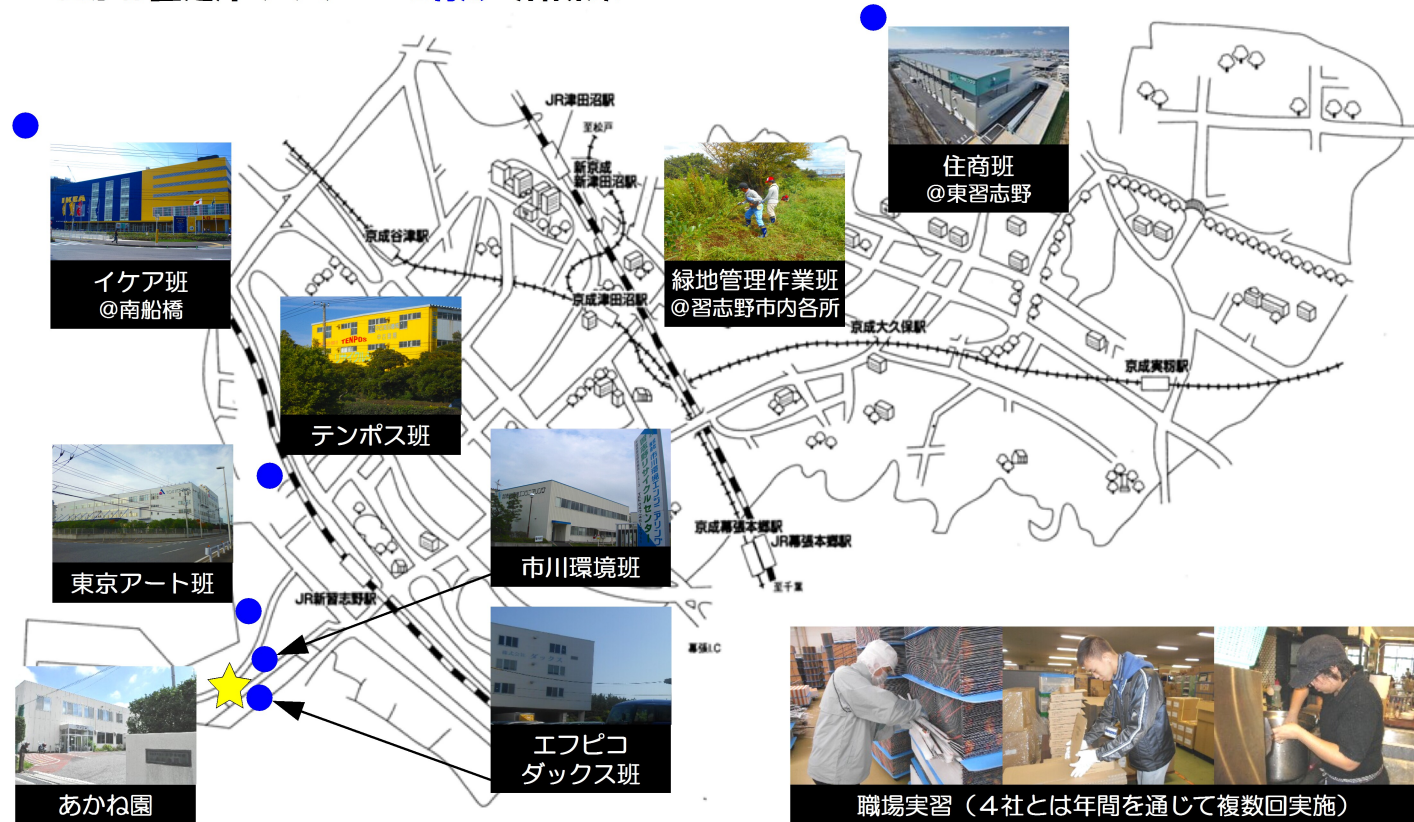
実習先としての企業

園内作業、外作業班とは別に、利用者の職場実習を受け入れていただいている企業があります。今年度はこれまで、25社・のべ60件の実習を行ってきました。

体験実習の位置付け 卒園生の就労先等、あかね園と関係のある企業に依頼をし、体験実習をさせていただいています。これは、本格的に就職活動が始まる前の企業で働くイメージ作りの機会であると同時に、利用者自身が考え、自分の力を出せるか、挑戦の場でもあります。成功体験は自信になり、また、失敗した体験も課題の見直しとなり、その後の取り組みにつなげることができます。さらに、企業の方から直接評価を伺えることは、就職を目指す利用者にとって、意識を高めるきっかけにもなっています。

採用前実習（採否の見極め）の意味合い 数ある求人情報の中で、書類や面接のみで選考する企業も少なくありませんが、あかね園では可能な限り就職前に実習をさせてもらうようになっています。実際に就業体験ができるので、利用者にとっては職場環境を肌で感じるだけでなく、内定後の生活をイメージしやすくなります。また、企業にとっても本人を直接見られる機会となるため、双方のマッチングが図りやすく、安定就業につながる可能性が高くなります。（担当：白井）

<あかね園近郊マップ> ※青点＝外作業班



就労先としての企業

現在、支援センター登録中の在職者は454名で、290社とのやり取りがあります。開所1年目から就職者を出し、当初はあかね園の近隣企業が主でしたが、近年は他市や都内にまで就労先が広がり、職種も働き方も様々です。

就職前の企業とのやり取り 雇用に関する相談が企業やハローワークを通して入ると、職員が企業に赴いて仕事内容の確認やシフトの調整をします。求人票の記載内容以外に職場の雰囲気、上司の人柄、一緒に働くパートさんの状況等、具体的な職場環境を知ることにより適切なマッチングを心掛けています。

就職後の企業とのやり取り 就職初期、長期就労者共に、その時々に応じた相談が寄せられます。職場内では仕事習熟の支援、体力や人間関係を考慮した働く環境へのアプローチ、そして、生活面では本人や本人を取り巻く家族を含めた支援等、企業が安心して本人を見られるよう、最大限の目配りと最小限の手出し口出しをし続けます。

地域で安心して長く働き、暮らすことを支えるため、園内の他事業や地域の関係機関と常に連携し、センターは今日も企業へ向かいます。（担当：中）

< 直近のあかね園の動き >

1/13（金） 【成人を祝う会】

今年度は11名の方が成人を迎え、利用者、保護者、職員総勢約90名で門出をお祝いしました。当日は、祝辞、両親への手紙の朗読、あかね園での2年間の成長記録をDVDにして上映、記念品の贈呈等が行われ、会を通して、大人の仲間入りをしたことを改めて自覚する良い機会になったと感じます。（担当：伊藤佐）



1/20（金） 【ふれあい会（卒園者の会）新年会】

ホテルグリーンタワー幕張を会場に、過去最高の84名の参加者が集まりました。例年のふれあい会では忘年会を行っていますが、今年度は新年の挨拶から始まることとなりました。会の中では10年勤続者8名と、20年勤続者3名の方の表彰も行ないました。各卓では久しぶりに会う人との再会を喜ぶ声が多く聞かれ、会員どうし食事を楽しみながら話の輪が広がっていました。（担当：鹿嶋）



2/7（火） 【太巻き祭り寿司体験】

千葉伝統郷土料理研究会より16名の講師にお越しいただき、利用者16名、保護者7名が参加しました。保護者は「あげ羽蝶」、利用者は「梅の花」に挑戦しました。苦労して作った巻き寿司が出来上がり、切れ目からきれいな文様が見えると、会場である食堂の至る所から歓声が上がりました。完成品は昼食時においしくいただき、郷土料理や食育を学ぶ良い機会となりました。（担当：長田）



2/9（木） 【第三者委員会】

今年度3回目の第三者委員会があかね園にて行われました。今回は2名の委員の方に出席をいただき、下半期に受け付けた苦情や要望、ヒヤリハットの報告を行ないました。苦情は2件、ヒヤリハットや要望は20件ありました。ヒヤリとしたことを職員全体で周知し改善策を講じることで、利用者の安心・安全を確保し支援の質を高めていきたいと思います。

あかね園苦情受付窓口：高師
場所：あかね園本場2階事務所